

県立西宮高等学校 「新聞読み方講座」 生徒感想

今まで私は、ネットニュースばかり見てニュースを疑うことなんてしたこともなかったけど、本当に信憑性があると言えるのかということを常に念頭に置いてニュースに向き合うべきなんだということを学ぶことができました。また様々なニュースをてっとり早く入手するには新聞の見出しと前文を読むことが最も適しているんだということを知ることができてよかったです。今日得た知識を明日から活かしていけるようにしたいと思います。(Yさん)

新聞の本質と意義について学べたと思います。最近ニュースをみるときもテレビや携帯で見ることが多く、活字を目にすることも少なくなってきました。そのため、自分の興味のわく内容の記事しか見なくなったので少し新聞を読むことに興味がわきました。私は、三好さんの「人の命と弱い命を守るためにある。権力は時に暴走することがあり、だからこそ監視する必要がある」という言葉にとっても心を動かされました。とても興味深い講演でした。(Tさん)

今まで新聞と聞くと文字がたくさん詰まっていて、難しい漢字がたくさん出てくるものという印象を持っていたが、子どもにも理解されやすくするための書き方の工夫がなされており、見出しをみるだけでもだいたいの内容が理解できるということが分かったので、新聞などのニュースの色々な見出しを見て、興味のある内容ならば読んでみたいと思った。また、新聞だけではなくいろいろなメディアに触れ、内容が本当に正しいのか疑いながら見て友達の意見や視点も広げていきたい。(Mさん)

私も SNS 支配下の社会に生きている人間の一人なので、あふれかえっている情報の中を泳いでいくには人間としての最低限のリテラシーと批判的なアティチュードを持って自分で判断、選択することが大切だと改めて感じました。また、佐多氏もスマホの検索エンジンなどでは履歴に自分の興味があることしかないの、身の回りのことにアンテナをもっと張ってしろうとするのが大切だと今回学ばされました。(Rさん)